



おがさわら

議会だより

第 154 号

小笠原小学校6年生
社会科見学



目次

一般質問	2
委員会報告	6
議案審議	7
議員レポート	8
編集後記	10

【小笠原小学校議会見学】

6月4日小笠原小学校6年生が議事堂へ社会科見学にやってきてくれました。生徒達は執行部側に座り議会の雰囲気味わって、「1年間の村の予算は？」など質問があり、令和6年度村の一般会計予算が65億のうち小中学校に10億以上使うことにびっくりしていました。後日感想文に「議員になりたい」と書いてくれた生徒がいたことが印象的でした。

清水 良一

【一般質問一覧】

● 安藤重行

1. 高齢者の単身世帯と住まい問題、終活と終活サポート問題、安心して暮らせる社会を作るための取組みについて

● 清水良一

1. 渇水対策の現状について

● 宮城ジャイアン

1. 母島ソーラーパネルの課題について
2. ドック物資問題について
3. 自死に対する村の対策について

● 片股敬昌

1. 太陽光パネル導入にあたって

● 平野悠介

1. 上水の安定供給について
2. おがさわら丸機関故障の再発生について

● 稲垣勇

1. オオコウモリによる農作物の被害状況と、その対応について

【一般質問とは】

議員が村長、教育長に対し、行政全般、教育行政全般にわたる施策の状況や方針などについて、説明・報告を求めることです。

高齢者の単身世帯と住まい問題、終活と終活サポート問題など…安心して暮らせる島に！

都住に
エレベーター
付けたいね！

村長・・・島づくりに貢献した皆様に
定住と医療福祉の行政サー
ビスの充実も必要



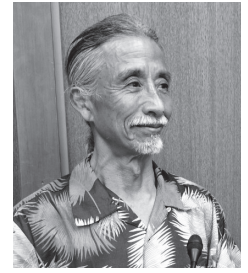
安藤 重行

- 問** 単身世帯の高齢者はシルバーピア以外に都住には住めない状況がある。国民年金8万円位では民間アパートは無理があり、終活サポートセンターの設置計画は。また、孤独死などを招かないための支援体制の施策は。
- 答** 小規模土地の宅地分譲で持家施策の充実等を基本方針で定めているが、高齢者も考慮し生産年齢層の増を政策の柱としている。
- 高齢支援は終活サポートセンターの内容を踏まえ包括支援センター等で体制を作っている。安全安心で暮らすための効果的な事業提供や相談も増え健康寿命の延伸に繋がる。
- 問** 住宅問題で新都住建替えの中で、村の管理住宅になるのであればシルバーピア等、村の要望を入れて10階建てエレベーターの設置も検討すべきでは。
- 答** 都ではメンテ等様々な課題がありエレベーター設置は考えていない。将来の住宅設計を見据え移管協議の中で様々な要望をする。
- 問** 令和3年開始の生涯現役地域づくり環境整備事業の取組みが必要なのは。
- 答** 既存事業の発展と、地域事情に合わせて独自の体制づくりが最も現実的と思う。高齢者就労環境はコーディネーター事業を中心に構築することが有効で、高齢者の健康・生活環境・人との関わり・生きがい活動・介護サービス等で支援をしていきたい。

渇水対策の現状について

節水をライフスタイルに！
技術職の確保を！

建設水道課長・・・水資源の大切さを積極的に広報
村長・・・東京都、他町村とも連携し職員確保の道筋を模索



清水 良一

- 問** 新たな水源確保や維持について。
- 答** 時雨ダムの嵩上げは耐震基準のクリアが必要。そのために全面改修が必要である。また、水面積増加による環境調査等実施に向けてのハードルが高い。浚渫についてはダムに適した工法を選定すべく引き続き調査する。乳房ダムについては、学校改築後、工事を想定。
- 問** 海水淡水化装置について、内地の平均給水原価168円に対して当村はいくらか？
- 答** 非常用海淡水装置は東京都により父島200³m³/日、母島50³m³/日を配備。給水原価は、前回渇水時395円/³m³、現在857円/³m³。海淡水装置を使うと1805円/³m³。
- 問** 島民一人一人の節水がライフスタイルにできないか？また雨水タンクの導入促進のための補助、中水、井戸水の利用について。
- 答** 水需要は27万³m³前後を推移。雨水タンクの補助は現在ない。大きい施設については中水利用を採用。
- 問** 高価で貴重な淡水資源の節約として海水温浴施設の検討を。
- 答** 平成16年に海水温浴施設を検討したが、採算性が厳しいことから断念。現時点では、検討する考えはない。

①母島太陽光の課題 ②ドック物資問題 ③自死に対する村の対応について

島民、関係各所、対話と知恵で乗り越えていきましょう！

【答弁】

- ①対応策を示す、年度内に勉強会を実施
- ②去年の反省を活かした。今後も研究
- ③ゲートキーパー養成講座などを実施



宮城 ジャイアン

- 問** 母島で工事中のソーラーパネル。台風での破損、景観が心配の声。他地域で火災があり、20時間消火できなかった。安全性は？
- 答** 景観には配慮。パネルからの出火は対策も万全を期しているため基本的にはないと認識。リチウムイオン電池保管庫の火災の場合は燃え尽きるまで待ち、延焼を防ぐ。消火活動の留意点は年度内に整理したい。
- 問** オガヒワの影響で一部は停止しているが、分譲予定地の募集時期に影響するのか？
- 答** 計画への影響はないと考えている。
- 問** 去年のドック物資で混乱が発生。1年かけて調整をしたが、どうだったか？課題は？
- 答** 商店に事前調整、冷蔵のみと周知。大きな混乱はなかったと認識。
- 問** 課題だった農産物、水産物の出荷はどうだったか？1月ドックに戻せないか？
- 答** 共勝丸が日程を調整。魚は八幡丸を村がチャーターして運んだ。引き続き、5月ドックの輸送改善できるように検討していく。
- 問** 村は3月に自殺対策を改定した。具体的な対策は？ひとりでも命を救えたらと思う。
- 答** 関係各所と地域で実態の把握、分析を行う。概ね5年ごとにゲートキーパー養成研修、精神科医の専門診療を実施。島嶼精神保健センターが年1回来島している。

太陽光パネル導入にあたって

ペロブスカイト
に注目

村長・・・環境負荷の少ない
エネルギー確保のため
設備導入を推進



片股 敬昌

問 パネル導入は地域との共生が前提、世界自然遺産地にふさわしく。

答 防災拠点優先し費用対効果を検証、周辺環境へ配慮する。

問 電源構成はベストミックスで。

答 自立分散型エネルギーシステムの重要性は強く認識しており、その他の発電の検討も進め、最新技術に注視していく。

問 パネル火災時の消火作業のあり方は。

答 火災用化学消火器を準備し、消防団員との勉強会、訓練をし、消火手順を確認する。

問 都知事はパネル条例を成立させたが、設置義務に違反すると罰則があるのか。

答 都民に設置の義務はなく、島嶼部の住宅には適用されない。設置は個人の判断で。

問 太陽光パネルの破棄、責任は。

答 太陽光パネル事業は日本全国で環境破壊を起こし、今なお拡大している。その背景には東日本大震災があった当時の民主党、菅直人政権時にスタートした再エネ賦課金という制度にある。自然エネルギーが環境のやさしいから普及したのではなく、この事業が確実にもうかるため外国資本も参入している。毎年一般家庭の電気料金が上がっていく再エネ賦課金制度は廃止すべきである。

答 事業者がリサイクルのルートを確保していると伺っている。

時雨ダム取水トラブル、再発防止については？

村長・・・2基体制＋予備を常備する体制を目指す

生活インフラ
の維持は最重要！

※ おがさわら丸機関故障について
こちらは議会のアーカイブをご覧ください



平野 悠介

問 5月1日、時雨ダム取水施設の故障によって断水の可能性があった。経緯によると取水ポンプの不具合は、1年前の令和5年3月に発生。その時点で対応できなかった理由は。

答 水質管理上、他のダムからの取水を優先。この不具合の対応が後手となっていた。組織としての危機管理意識が低下していた。再発防止として確実な危機管理体制を整える。

問 ポンプ故障原因と対応策は？

答 設置から17年経過の劣化と堆砂による過負荷の可能性。配管素材、ポンプの設置箇所を改良。今年4月から運用開始した維持管理情報システムも活用していく。

問 安全な水の提供には技術職確保も欠かせないと考える。全国的に技術職確保が難しい中、村としての取り組みは？

答 内地イベントや島しょ会館での告知、青年海外協力隊員への告知活動。民間の試験プログラムを活用、全国各地で筆記試験実施する方法など、出来得る方策に取り組んでいる。

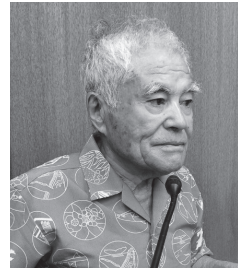
問 今回の件について、村長の見解は？

答 水と言う生活のために欠かせないものを村が抱えている。再発がないように予備を持つて迅速に取り換えられる体制を目指す。全ての村所有施設についても管理見直しを指示。村民の皆様にはご不安をかけたこと、お詫びいたします。

オガサワラオオコウモリによる農作物の被害状況は

産業観光課長・・・母島において生息数が急増。
農業被害が顕在化している。

いつまでも住み
続けたい島に



稲垣 勇

問 母島の農業者は、トマト・パッションフルーツ・青レモンの栽培を主軸にしている。昨年度以降の被害の状況とその対策について伺う。

答 母島に於いてオオコウモリの生息数が急増し、農業被害が顕在化している。昨年度は、緊急対策としてNPO法人や農協職員、環境省、東京都、村職員による、夜間パトロールを農業者とともに実施し、一定の防止効果があったと認識している。今年度は食害対策業務を農協に委託し、NPO法人の協力を得て、夜間のパトロール及び追い払いを実施した。

問 今後の対策はどのように考えているのか伺う。

答 食害防止対策として、硬質樹脂製ネットの防除施設整備が有効と考えるが、文化庁の予算など、都と農協とも協議を進めていきたい。



議長出張報告



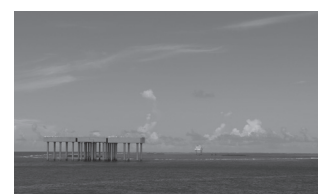
出張日	出張用務
3/30	日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式出席
4/9	小笠原小学校、小笠原中学校、小笠原高等学校入学式出席
4/19	第102回小笠原諸島振興開発審議会出席
5/10	東京都島嶼町村一部事務組合第1回臨時会出席
5/11	東京都町村議会議長会第1回総会・議員講演会出席
5/14	東京都総務局行政部長訪問
5/16	東京都議会主要会派訪問
5/17～18	第85回下田黒船祭出席
5/21	全国町村議会議長会議長・副議長研修会出席
6/25～26	八丈町表敬・視察
7/1	取手市議会視察
7/2	公益財団法人山階鳥類研究所視察 すみだ水族館「すみだボニンアイランド」視察
7/4～6	沖ノ鳥島視察



日米硫黄島戦没者
合同慰霊追悼式



第 85 回 下田黒船祭



沖ノ鳥島 視察

令和6年第2回定例会の運営について、議員の派遣について及び継続審議の議論が行われました。継続審議である「議会意見交換会」については、対象団体と開催時期等を調整し、次回提案する。「機器の持ち込み」、「議会報告会・意見交換会」については引き続き、調査することとなりました。

総務委員会 6月14日

片股敬昌 委員長 平野悠介 副委員長

小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、小笠原村愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例（飼養登録、ペット条例審議会の答申等）、村民向け普及啓発事業、平島ネズミ対策、南島におけるグリーンアノールの侵入確認について報告、質疑がありました。

○主な会議予定

7月頃 小笠原諸島世界自然遺産地域連絡会議（第1回）、科学委員会（第1回）

○村民向け普及啓発事業

オガグワの森イベント 5月11日実施 参加者：26名

○ペット条例について

飼養登録数（令和6年3月31日現在）

登録世帯数155世帯（猫48世帯、犬55世帯、その他62世帯）

【問】動物持込申告について、竹芝に受付窓口を設けるのか。（平野）

○南島におけるグリーンアノールの侵入について

【問】1匹の侵入と考えているのか。

トラップへの混獲情報、混獲数は。

（宮城、清水）

住宅政策

父島奥村分譲地、母島静沢分譲地、東京都小笠原住宅の整備、住宅モデル事業について報告、質疑がありました。

【問】住宅モデル事業、母島での検討、予定は。（宮城）

【問】奥村分譲地申込結果、空き区画の対応について。（平野）

【問】母島の住人が1年で20人以上減少しているが。（宮城）

令和7年度小笠原諸島振興開発事業概算要求について

令和7年度小笠原諸島振興開発事業概算要求についての報告がありました。

【問】小笠原小中学校仮設校舎建設費用8億円計上とあるが当初計画からの上昇額、その財源確保について。（平野）

令和7年度東京都予算編成に対する小笠原村の要望事項の概要について

令和7年度東京都予算編成に対する小笠原村の要望事項の概要について報告があった。

【問】沖港の防波堤整備は、具体的な場所は。（宮城）

時雨ダム取水施設の不具合及び復旧までの経緯と今後について

時雨ダム取水施設の不具合及び復旧までの経緯と今後について報告があった。

【問】予備ポンプについては父島のみなのか。（宮城）

【問】水質検査について（清水）

その他について

稲垣委員より、「野ネズミにおける農作物の被害対策について」状況とその対応について提案があり、質疑が行われました。



令和6年3月の委員会以降の硫黄島に関する動き、硫黄島に係る連絡会議について報告がありました。

遺骨収集帰還事業について

第1回目：7月3日～17日（延期）

訓練について

FCLP訓練、HRS訓練、潜水訓練、LCAC（エアークッション艇）訓練、総会訓練
米海兵隊による訓練について



その他

- ・硫黄島島民平和祈念墓地公園管理事業（年6回実施予定）
第1回：5月23日～27日 実施
第2回：7月17日～22日（予定）
- ・南鳥島行政視察
6月27日～28日（予定）
村長、村議会議員8名、職員2名参加予定
日米硫黄島戦没者合同慰霊追悼顕彰式（硫黄島協会）
3月30日 村長、村議会議長参加
- ・硫黄島訪島事業
7月29日（予定）
航空機による日帰り訪島。
参加対象者：一般村民



令和6年3月の委員会以降航空路開設推進に関する動きについて村長の陳情活動等について報告がありました。

【報告内容】

- ・令和6年4月1日より、小笠原諸島振興開発特別措置法が延長され、国土交通大臣より小笠原諸島振興開発基本方針において、小笠原航空路については、「村民の悲願である航空路の開設に関しては、災害や傷病等の緊急時の安全・安心を確保し、住民生活の安定を図るためにも、地元の意見や自然環境との調和に十分配慮しつつ、必要な取り組みを進める。」と示されました。
- ・東京都議会「都民ファーストの会」視察団(5名)が4月3日～6日、東京都総務局行政部野村小笠原振興担当課長が4月10日～13日に来島し、候補地の洲崎地区視察。

令和6年第2回定例会においてこんなことが決まりました。

（開会日：6月13日、14日）

【議案一部紹介】

- 小笠原村村税条例の一部を改正する条例他報告9件
- 小笠原村ケーブルテレビ条例の一部を改正する条例
- 令和6年度小笠原村一般会計補正予算他2件（第1号）

- 令和6年度小笠原村簡易水道事業会計補正予算他1件
- 小笠原村教育委員会教育長の任命の同意について
- 議員の派遣について

東京都町村議会議長会講演会

清水 良一

5月の視察では東京都の町村の議員が一同に集まり講演会に参加、その後の意見交換会では親睦を深め情報交換を行っている。今年は長野県飯綱町元議会議長 寺島 渉さんより「議員のなり手不足対策と議会改革」というテーマで講演をいただいた。

飯綱町は第3セクタースキーリゾートの経営破綻、住民からの厳しい批判から、議会改革を実践。住民に信頼される議会を目指し、様々な取り組みを行ったそう。

その中で模擬議会、休日議会、夜間議会、を開催し、町民との懇談会を地域別、テーマ別、各種団体等、多様な形で開催したそう。小笠原村議会でも現在そのような施策を議論している最中で、大変勉強になった。さらに議会の活性化に女性議員の必要性を感じた。



東京都行政部・東京都議会表敬

平野 悠介

5月14日に東京都行政部長へ表敬訪問を行いました。2024年3月末に小笠原諸島振興開発特別措置法の法延長が決定したことを受け、小笠原諸島振興開発計画が定められていきます。そのため今回は、振興開発計画に対する意見交換を行政部と議員間で実施し、小笠原村の抱える諸課題について共有して参りました。



また、16日には都議会自民党をはじめ各会派への表敬訪問を行いました。特に都議会島部選出の三宅正彦都議には、日ごろからの小笠原村への深いご理解と課題解決へのご尽力いただいております。今後も村議会として三宅都議と強固な関係を継続し、小笠原村の発展へと繋げていきたいと思っております。

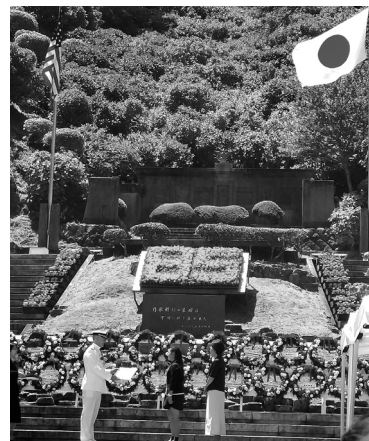
【戦前から続く、日米合同「第85回下田黒船祭」の潔さ】

宮城 ジャイアン

5月17日～18日。日本側が英語で、米国側が日本語でスピーチを行っていた場面が鮮明な、実に85回も続いている下田黒船祭。歴史ある日米お互いのパートナーシップを大事にしたいという想いに溢れる内容の式典でした。私が強烈に惹かれたのは、戦前から続いている日米合同の祭という部分。戦争当時は6年間、この祭りは中断されましたが、お互いの信頼関係を重んじて再開し、続けてきたと感じられる深い祭でした。

今回、池田議長と平野議員と僕の3名でこの下田最大のお祭りの式典に出席してきました。江戸末期、鎖国の日本に開国を迫るペリー提督は、小笠原に寄った後に浦賀に向かいます。1854年、日米和親条約が結ばれ、200年以上続いた鎖国を破り、日本で最初に港を開いたのがこの下田。今年は開港170年という節目でした。

式典は日米と関係者で執り行われました。その後、下田の風情ある街並みを日米、そして地元の皆さんのパレードが盛り上げます！町を挙げての盛り上げムードでした。ペリー提督のご子孫も出席したこの祭り。小笠原も大いにご縁があるので、興味がある方はぜひ下田黒船祭へ！



友好町村八丈町表敬訪問と視察報告

安藤 重行

友好町村で町政70周年の八丈町へ、寄港便を利用し、参加村民とお祝いに伺う。八丈町清掃工場は令和5年度まで工期3年。高性能な処理技術で島の快適な暮らしを支える取組を実施。減量化や不法投棄禁止、コンポストの無償貸与、伐採木の有料化。地域により考慮する視点が異なる。シイタケ栽培など新産業の取組み、青島特別支援学校の八丈分教室、特別支援学校の取組みは、近々に小笠原でも取組むことが不可欠となり、課題が多い。島で住む子供が安心して暮らせる体制づくりは、避けては通れない。伊豆諸島の課題は人口の急激な減少に歯止めが効かない状況にあり、特養ホーム等も例外ではない。全ての産業・事業に押し寄せている現状がある。



議会改革の先進地、取手市議会へ！

平野 悠介



議会改革度調査で2020年、2021年と2年連続で1位となった取手市議会、小笠原での議会の在り方の参考にするため視察へ行ってきました。研修では、取手市独自のAI音声認識システムで議事録が作成されていく環境も体験しました。取手市はコロナ禍でオンラインでの委員会実施を速やかに導入しており、現在では一般質問もオンライン参加が可能となっているとのこと。オンライン利用時の運用面での工夫も参考となりました。その他、タブレットの活用方法や、住民意見交換会の運営方法など、参考になる事例が多くありました。特に、議会と議会事務局が一緒になって改革に取り組んでいる姿勢が印象的でした。

アホウドリ復活の日は近い！？山階鳥類研究所

平野 悠介

賀島列島でのアホウドリ増殖事業、今年はコロニー作成から9年目です。過去の鳥島でのデータではコロニー形成から11年ほどで等比級数的に数が増えていることが示されていました。データ通りであれば、あと数年で爆発的に増え始める時期に差し掛かっており、重要な過渡期にあると感じました。特に、2021年に尖閣諸島の個体群と鳥島の個体群は別種であることが示され、尖閣諸島の個体群はセンカクアホウドリとして分類されました。そのため、鳥島個体群の絶滅危機回避ため、賀島繁殖地の重要性が更に増した所です。観光資源としての可能性も高く、アホウドリ観察ツアーも生まれるかもしれません。今後の動向に注目したいですね。



念願の沖ノ鳥島視察会がスタッフ伴せて198名参加のもと実施されました。国境離島小笠原村の行政区域であり日本の最南端にあたります。航海中に東海大学海洋学部教授の山田吉彦先生による「沖ノ鳥の重要性と活用法」の講演が2回行われ、小笠原から洋上約1,000kmの場所にある沖ノ鳥島の役割は日本の経済水域の3分の1を占めているという重要な島であり、この小さな沖ノ鳥島がいかに貴重であるかを実感しました。



また、「鯨類と海鳥のガイド」の講演もあり、航行中に会ったクジラやイルカ、また12種類位見られたという海鳥等の紹介も行われました。夜は、星空観察会も開かれ久しぶりに夜空を見ました。



東京都総務局行政部の御協力により沖ノ鳥島、南鳥島の国境離島に関するパネル展示、VR映像体験もされました。日本の何処の島よりも行く事の難しい沖ノ鳥島に行く事が出来た事に関係者の皆様に感謝いたします。

令和6年第3回定例会会議日程表（予定）

月日	開始時間	会議名	内容
9月11日（水）	午前10時	本会議	会期の決定等
9月12日（木）	午前9時	総務委員会	
	午前11時	硫黄島調査特別委員会	
	午後2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後3時	本会議	議案審議等
9月13日（金）		決算特別委員会現地視察（父島）	
9月14日（土）		決算特別委員会現地視察（母島）	
9月25日（水）	午前9時	令和5年度決算特別委員会	
9月26日（木）	午前9時	令和5年度決算特別委員会	
	午後3時	本会議	議案審議等

● 映像の配信について

- ・中継放送 TV 11チャンネル
- ・小笠原村公式 You Tube チャンネル



「You Tube チャンネル」

● 会議録について



編集後記

「最近の議会だより、とても読み易くなって、内容もとてもいいと思います。ありがとうございます！頑張ってください！」先日の6月議会に父島へ向かう時に、島民の方にそんな声をかけて頂きました。本当に嬉しかったです。ありがとうございます！

1年前の4月に議員になって、議会だより編集委員になりました。議会だよりは議会を住民の皆さんに知ってもらう、伝えるための機関紙です。その為にはまず読んでもらわなければ始まらないのです。議会だよりをより読み易く、興味が湧くような紙面作りを工夫してきました。自己紹介を楽しくしたり、一般質問をひとり1ページにしたり…。今は文字数はできる限り減らして余白を作り、見易くすることを意識しています。広報誌の専門家に講義をしてもらい、まだまだ改良の余地はいっぱいあります。今後どんどん工夫していこうと思っています。反響はとても嬉しいので、ぜひ見かけたら声をかけて下さい。さらに頑張る力になります！

宮城ジャイアン

● 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一 平野悠介 宮城ジャイアン

問い合わせ先 小笠原村議会事務局 電話 2-3118 FAX 2-3208 メール gikai@vill.ogasawara.tokyo.jp